

令和7年度第1回恵那市ICT活用推進委員会 議事録

日時：令和7年8月1日（金）午後1時30分

場所：恵那市役所西庁舎3階災害対策室

-
1. 開会
 2. 委員の委嘱
 3. 委員長及び副委員長の選出
 4. 議事
 - ・第3期恵那市ICT活用推進計画の策定について
 - ・第2期恵那市ICT活用推進計画の取組状況について
 5. その他
 6. 閉会
-

資料No.1

資料No.2

■委員

	選出区分	団体名	氏名
1	学識経験者	法政大学理工学部	藤井 章博
2	学識経験者	法政大学大学院	山崎 泰明（オンライン）
3	商工団体	恵那商工会議所	古山 紀昭（欠席）
4	商工団体	恵那市恵南商工会	瀬戸 利之
5	教育団体	恵那市小中学校校長会	可知 浩幸
6	防災団体	恵那市防災研究会	岩井 慶次
7	福祉団体	恵那市社会福祉協議会	紀岡 伸征
8	その他団体	恵那市地域自治区会長会議	小木曾 信夫
9	副市長	恵那市	柘植 克久

■DX推進監

1	情報政策課（ソフトバンク株式会社）	竹内 武司
---	-------------------	-------

(事務局) 情報政策課 沼田、鈴木、原

ソフトバンク株式会社 小林

■傍聴者 1名

1. 開会

■事務局（進行）

定刻となりましたので、これより令和7年度第1回ICT活用推進委員会を開会いたします。本日は、大変お忙しい中、またとても暑い中ご参加いただき誠にありがとうございます。4月から前任の小林に替わりまして着任いたしまして沼田と申します。本日の進行等を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。今回は第1回目の委員会となります。本年度は第2期ICT活用推進計画が3月末をもって終了というところもありまして、改めて計画見直しのための会議のキックオフとなりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。本日委員の皆様は全体で9名となります。事前に古山様からご欠席のご連絡をいただいているというところです。また山崎様はオンラインでのご参加をいただいておりますので、よろしくお願ひいたします。また注意事項としまして、本日の会議につきましては、「恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、原則公開しております。そのため傍聴席をご用意しているというところと、今回の会議の会議録につきましては、市のウェブサイトにおいて、公表させていただくというところになります。よろしくお願ひいたします。それでは着座にて進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。会議の流れですけども、本日は年度変わりということであります。まずは委員の委嘱というところがあります。その次に委員会の開催にあたっては、委員会のルールの中で、委員長副員長の選出というところがあります。まずはそちらを行って、議事に入って行きます。本日の会議の時間ですが、1時間ということで、しっかり綿密にやって参りたいというところでお願い申し上げます。終了は2時30分を目指していただければと思っております。それでは次第に沿って進めさせていただきます。

2. 委員の委嘱

■事務局（進行）

本来であれば、市長から委嘱書をお渡すべきというところですが、本日他の公務ということで、外出をしておりまして叶わず、また時間の関係もございますので、机上配布とさせていただいておりますので、どうぞご容赦願いますようにお願いいたします。

オンラインでご参加の山崎様、ご欠席の古山様につきましても、この会議の終了後に委嘱書はご郵送させていただくというところで、ご了承願いしたいと思います。

今回は最初の会議ということもありまして、委員のメンバーも若干替わっておられますので、名簿の順番で結構ですので、藤井先生から自己紹介ということでお願いしてよろしいでしょうか。お願ひいたします。

■藤井委員

法政大学の教授藤井章博と申します。中津川市出身で高校は恵那高校です。ICTとの

関わりは、現市長がお役人の時からの関わりがありまして、本当に長いです。恵那市はかなり先進的な取り組みをこれまでやってこられていて、是非皆さんのご協力のもと、より一層推進していきたいと思います。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続けて、山崎さんオンラインになりますが聞こえておりますでしょうか。自己紹介お願ひいたします。

■山崎委員

すみません、オンラインによる参加で。山崎泰明と申します。今、藤井教授の方からお話をありがとうございましたが、もともと私は藤井教授のもとでインターネットビジネスの授業を担当していたということもございまして、現在は法政大学の大学院のビジネススクールの方へいっておりますが、以前は藤井先生のもと理工学研究科の方で授業をしておりまして、その関係で参加させていただくことになりました。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。それでは古山様はご欠席となりますので、瀬戸委員お願ひします。

■瀬戸委員

恵那商工会より来ております岩村の瀬戸と申します。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続きまして、可知委員お願ひします。

■可知委員

恵那市の小中学校の校長会長を務めております。恵那北中学校の校長の可知浩幸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続きまして、岩井委員お願ひします。

■岩井委員

こんにちは。岐阜大学非常勤講師ということで、防災の専門家を育成している。また防災研究会の会長をやっております。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続きまして、紀岡委員お願ひします。

■紀岡委員

こんにちは。恵那市社会福祉協議会の紀岡伸征と申します。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続きまして、小木曾委員お願ひします。

■小木曾委員

こんにちは。恵那市地域自治区会長会議の代表ということで、三郷町の小木曾信夫と申します。ＩＣＴということで最近十六銀行さんに行くと、やたらインターネットを勧められて、私はインターネットのスマホに登録させていただいたんですが、もうお金が簡単に動いてしまうということは、非常に驚異がありました。そんなことで、今日は何か参考になればいいかと思います。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

よろしくお願ひします。続きまして、柘植副市長お願ひします。

■柘植委員

皆さんこんにちは。本日お疲れ様でございます。今年度より副市長ということでやっております。柘植と申します。宜しくお願ひいたします。

■事務局（進行）

ありがとうございました。それでは本メンバーでもって、今年1年間3月まで。今回は計画の見直しが中心になるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

3. 委員長及び副委員長の選出

■事務局（進行）

それでは続きまして、委員長及び副委員長の選出というところでございますけども、こちらも設置要綱に基づきまして、互選によって選出するということになっております。皆様、何か特別な意見がございましたらお伺いしますが、いかがでしょうか。

[「事務局一任」の声あり]

■事務局（進行）

ありがとうございます。それでは事務局の方で事前にご用意させていただいた案でもつて提案をさせていただきます。前年度に引き続きまして、委員長を藤井様、副員長ちょっと本日欠席でございますけども古山様ということでご提案させていただますがいかがでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

■事務局（進行）

ありがとうございます。それでは皆様からのご承認をいただいたということで、委員長藤井様、副員長古山様ということで、どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、これから議事に入りますけども、藤井委員長から冒頭ちょっと就任なんか簡単に何か昨今の話題も含めまして、話をもしいただけたらというとこから、スタートしながら、議事に入つていただけたらありがたいなと思います。藤井先生よろしくお願ひします。

■藤井委員長

ＩＣＴの分野での話題は、やはり今はＡＩなんですが、ＡＩにはいい話と悪い話がもちろんあります。いい話の方は、色々と効率化が図れるとか導入することによって利性が上がるとかあります。悪い話としては、やはりＳＮＳへの影響というのがあります。特に戦争を戦っているヨーロッパの東の方で非常に重要な問題となっている。そこで、利用されている技術というかやり方みたいなのが、いろんな国でも例えば選挙への介入など問題視されるようになってきています。恵那市としてもそのようなことから全然離れるような訳にはなってこないのではないかと感じている。

■事務局（進行）

ありがとうございます。それでは藤井委員長の方から、議事に従って本日は議題2件ご用意させていただいておりますので、進行をよろしくお願ひ申し上げます。

■藤井委員長

それでは第3期恵那市ＩＣＴ活用推進計画の策定について、事務局よりご説明よろしくお願ひします。

4. 議事

- ・第3期恵那市ＩＣＴ活用推進計画の策定について

[事務局から資料No.1に基づき説明]

■藤井委員長

まず、私から質問です。以前聞いているが3年度の実施計画が4年度になった理由は、総合計画に合わせてということでおよしいか。

■事務局（進行）

はい、おっしゃる通りです。今回恵那市市の新しい総合計画が2045を目指として、20年後ということで、4年スパンで見直しを図っていこうという計画にしております。ちょうど同じタイミング、来年度からスタートするということがございまして、その期間としっかりとこのデジタルの計画もリンクさせていこうということで、4年という単位にさせていただきましたが、前回の会議の議事録を拝見させていただきますと、デジタル技術というのは、日進月歩です。半年とかぐらいの期間で大きく変わりますので、当然この計画も、そっくりそのままこの計画に準拠するのではなくて、当然随時見直しとか、追いつき追い越せということをやっていこうということは考えております。

■藤井委員長

ありがとうございました。もう一つ、DXという名称に変更することは議決をするということでおよしいか。

■事務局（進行）

実は元々令和元年にこの委員会を作りました、計画という1・2期を進めてまいりました。令和元年から進めてまいりまして、ICTというのは、どちらかというと、先ほどお示しした様に、技術というかそういうものをうまく活用していこうというところだったが、今回のDXというのはもう一步踏み込んで、変革ということで、まるっと向きを変えてしまうような考えも持っています。それぐらいやっていかないと、これからの中子高齢化であるとか、今日のようなこの暑さとかいうところには、間に合わないというか、十分な対応ができないということが、皆様肌感でも分かっていただけるかなというところで、そういう意味合いもあって、このICTというテーマの中でやっていたいたところを皆様の合意の下で変えていきたいということでございます。

■藤井委員長

それでは、まず皆様からのご意見をぜひ伺いたいと思いますが、どうですか。

■ソフトバンク小林

計画名の頭には第3期と付きますか。

■事務局（進行）

実は前回部会の中でもご意見をいただき、1期・2期と続いていますから、第3期DX推進計画とするのか、それとも第1期DX推進計画とするのかという議論がありました。全国の事例とかを見ますと、いわゆるこの第1期第2期の計画を踏襲した形の計画を作る場合は、第3期DX推進計画としているところが多いです。改めて白紙に戻しながら作り直したというところは、第1期というところもつけなく、○○市DX推進計画と言うところが多いというところでございます。今回改めて、中身を練り上げていくが、前回第2期の3つの階層に沿ったような第2期もすごくいい計画だなと思っている。暮らしを変えるとかというテーマもしっかりと書いていますし、そのようなところをしっかり踏襲していこうということであれば、第3期とつけてもいいですし、やっぱり今回DXということで改めて、よいスタートということを見直そうという意識を込めるのであれば、第1期若しくは、期をつけないようなことも、1つかなというふうに事務局としては思っております。

■藤井委員長

この場での議論としますか。

■事務局（進行）

そうですね。また最終的には3月のゴールには、しっかりと確定して行きたいと思いますけども。まだ余裕は持っているかなと思います。

■藤井委員長

いかがでしょうか。

■小木曽委員

社会の変革といいますか、資料27ページから見ますと当然国・自治体がすべてDXを推進していると、DXという言葉は瑞浪商工会議所の会頭がよく使われておりました。時代の流れからすれば、国・自治体が進めているDX推進計画、総務省が進めている名称で十分浸透するのではないか。

■可知委員

前のICT活用推進計画という名前もそうですが、「誰1人とり残さない」と言って、恵那市民の方に理解してもらうのに、DX推進計画と言って、一体何人の人が理解するのかなという。先ほどキャッチフレーズがありましたが、そういうものを全市民に周知するっていうか、そのようなものでやっていかないと私も初めてこの会議に出席しましたが、第2期ICT活用推進計画があるということはほとんど教育現場にいても知らないま

ま来ているという現状がある。本当の意味で恵那市民の暮らしをより良くするという風に考えた時に、計画が本当に浸透していくかどうかということはすごく大事ではないかと思うので、そこをちゃんと考えてく必要がある。

■藤井委員長

大変重要なご意見ありがとうございます。計画の中にあるキャッチフレーズ、DXという言葉を使うのであれば、それがより分かりやすくなるようなキャッチフレーズがいるのでしょうか。それをこの場で考えていかないといけない。

■事務局（進行）

ありがとうございます。市民への浸透であるとか、特にデジタルというのは、デジタル弱者と言われる言葉があるぐらいですので、そういったところに、弱い方もたくさんお見えになりますので、しっかりとそれをうまく広めていく、分かりやすくして行くという作業を、今回の計画作りの中にもしっかりと盛り込んでいきたい。それがキャッチフレーズなのか、もっと違う何かコピーライト的なものなのか、また皆さんと一緒に事務局として提案をさせていただきながらやっていきたいなと思います。今日この場で、どういうのがいいかというここまで、議論ができないかもしれません、大変貴重なご意見ありがとうございます。

■藤井委員長

他によろしいでしょうか。

■岩井委員

先ほど言われた「誰一人取り残さない」というところはなかなか難しい反面、やはり謳っていかなければならぬと思う。

告知放送、耳から入れようとした。当時は端末もあまり良い物もなかつたりで、当時は告知で個々の家で放送をかけると、垂れ流しだがそれを導入したわけです。あれから、もう10年20年近いが、何も変わってない。それを市役所としてどうしていくかというところがとても大事で、「誰一人」というところが「誰一人」になっていないのではないか。資料21ページにありますアンケート、「ほぼ毎日利用する」という方はよいが、「利用しない」があります。「利用しない」じゃなくて「利用できない」方がみえるのではないか。使いたいけど使えない、端末が買えないとか色々あるのではないか。そこで「誰一人」というところが大丈夫なのか。持てない人には持てるように施策を打っていかないと。市民に根付いたところを、ICTでもDXでもよいが、施策として打ってほしい。

岐阜県内でも盛んになってきましたが、避難所のDXというものをあちこちでやられている。避難所もとても大事なところなので、進めてほしいと思います。

■藤井委員長

大変貴重がご意見ありがとうございます。本日は第1回なので、色々な課題を意識した上でこれから策定していくということでよろしいでしょうか。それでは第3期恵那市ICT活用推進計画の策定について、事務局からの説明は以上とします。続きまして、次の議題に移りたいと思います。資料2の第2期恵那市ICT活用推進計画の取組状況について、事務局よりご説明をよろしくお願ひします。

[事務局から資料2に基づき説明]

■藤井委員長

ありがとうございました。ご意見等ありますでしょうか。

■小木曽委員

飯地地区の見守りについて、これは我々の三郷町もへき地ですが、三郷地区など今後導入予定はありますか。

■事務局（進行）

今回の事業につきましては、導入の費用、スマートスピーカー178台を購入して、設置をしたりする費用を先ほどお示しました国の交付金をいただいて設置をしました。ただ現在のところは、実証実験という位置づけでやらせていただいておりまして、これでちょうど2年目実質2年目を迎えます。その中で今使っている見守りであるとか、情報配信みたいなサービス、さらには今日ここでお伝えしたような買い物支援だとか、そういった中山間地域に特異な課題を解決するための。何かこういったものができていって、非常に効果があると言うことをしっかりと確認をして、例えば飯地地区以外にも今おっしゃられよう三郷であるとか、もっと飯地よりも遠い串原であるとか、そういうところにも置けないかということは、考えております。あともう1点先ほどちょっと岩井委員からもご指摘のあった音声告知という今、現在恵那市内ではほぼ100パーセントに近い家庭に、FM受信で飛ばす音声による片方向の告知器があります。情報配信、災害情報を配信しておりますが、それが今岩井委員のご指摘のように、期間がかなり長くなつて古くなつてきました。更新の時期を近々迎えているというところもありまして、そういったところとの変換のタイミングで、こういった新たなデバイスというか。活用の仕方が、何が良いかということの検討材料と言うことにして行きたいというところです。また現在三郷にも、笠置にもというところで、いつからこうやるというところまでは決まっていませんが、この実験の効果をしっかりと確認して行きたいと思っております。できる範囲で、考えていきたいと思います。

■藤井委員長

他にご意見いかがでしょうか。

■紀岡委員

住民票等のコンビニ交付ですが、利便性が高まっていると思いますが、想定しているより利用率が高いのかどうか。何か不具合があったかどうか。

もう一つ、府内の生成A I ツール、マイクロソフトの Copilot ということで、いくつかツールがある中で、選定した理由があれば教えてほしい。

■事務局（進行）

まず、コンビニ交付についてですが、今日のところは市民課の方からの情報では、ここまで情報ということで、先ほど藤井委員長からもご指摘あった他の比較とか、今この 11.8 パーセントの割が高いのか、低いのかというところは、改めて資料を準備して、また次回の委員会にもしっかりと報告をして行きたいと思います。あとトラブルというところについては、いわゆる機械側としてメンテナンスとして 1 週間使えないというところはありました。それ以外のところでは、特に不具合というのを聞いていません。ただマイナンバーを持って利用しますので、マイナンバーの更新がしてなかったと言うことで、実際コンビニ行ったけども使用できなかった。それはマイナンバーの更新の手続が済んでなかったということです。そういう案件は、お聞きをしますけども、特別この 5 ヶ月の間では何か大きなトラブルがあったことは聞いておりません。続きまして、Copilot の選定について、業務環境といたしましてマイクロソフトのツールをベースとして使用しております。そのライセンスの中に含まれている Copilot をそのまま活用しようということで、費用をかけずに業務効率化を進めようというところで選定した次第です。

■柘植委員

補足ですが、先ほどコンビニ交付の話が紀岡委員からでましたが、元々住民票など市役所に発効する書類というのは、昔は市民課の窓口だけであったのが、それが振興事務所で取得できる、それからさらに最近では恵那出張所でも取得できるようになり、かたり市民課に来られる方が減った。そうすることによって、市民に向き合う時間が増えたということと時間外が減ったということがあります。さらに、コンビニ交付によって、本当もう極端な話、市役所も恵那出張所もいかなくてよく、自分の家の近く、また仕事先の近くのコンビニで住民票の関係の書類が取得できるということなので、住民の方にも安く市民サービスが提供できます。それから市民課の窓口も来客者が減ったということで、時間外削減に繋がっている。それから、窓口対応の市民サービスの向上にも繋がっている。そんな現状が生まれています。

■藤井委員長

私の過去の経験ですが、遠くに住んでいて、家族や親が地元にいる人が住民票や戸籍を取るのにコンビニ交付があるとのないのでは全然違う。あれば、東京のコンビニでも取れるけれども、ないと来なければいけない。その違いはすごく大きいです。

大体お時間なりましたが、他に特にご意見がなければと思いますが、どうですか。

■岩井委員

資料5ページのリモートワークについて、今回防災訓練がありますが、災害対策本部も立ち上ります。各振興事務所は、このリモートができるのか。

■事務局（進行）

もともと振興事務所については、別にWi-Fi環境が整備してありますが、ポケットWi-Fiの配備はできておりません。

■岩井委員

振興事務所のWi-Fiが途切れてしまう場合も想定してということですが。

■事務局（進行）

配備をしないといけないが、現在は10台しかないので。

■岩井委員

能登半島を踏まえて、メタリンク回線が途切れてしまった。スターリンクがすごく流行ったが、当然恵那市もスターリンクを防災では検討したみたいだが、予算等の理由によりボツになってしまったみたいだが。そうではなく、「起こること」として行政として備える、そのような姿勢を示してほしいと思います。

■事務局（進行）

はい。わかりました。

■藤井委員長

これも一つ検討課題ですね。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは議事進行を事務局に戻します。よろしくお願ひします。

■事務局（進行）

ありがとうございました。今のご意見を踏まえて、また修正とかけてまいります。
それでは5番目に「その他」ということがあります、ソフトバンクの竹内DX推進監

より、先ほどの生成AIツールも含めて、生成AI動向や恵那市での取り組みについて共有させていただければと思います。竹内DX推進監よろしくお願ひします。

5. その他

- ・生成AI等について

[竹内DX推進監より生成AI等について]

6. 閉会

■藤井委員長

どうもありがとうございました。ぜひ皆様もどの会社の生成AIでもよいので、生成AIを使い込んでください。コツは、丁寧に相手が人だと思って説明してお願いするようなプロンプトで書くと精度が上がると思います。

それでは以上にて、よろしいでしょうか。本日はご参集いただきありがとうございました。これにて散会させていただきます。ありがとうございました。

[閉会]